

自治基本条例をつくる会 会議概要

第1回会議	
開催日時	平成19年4月23日(月)18時30分～20時
開催場所	山陽小野田市役所 第2委員会室
出席会員	14名(1名欠席)
出席職員	市長・市長公室長・行政改革課職員3名
協議概要	(1) 市長挨拶 (2) 事務局及び会員自己紹介 会員名(50音順) 岩崎秀司、岩本信子、衛藤弘光、岡村啓二、河野朋子、 草田和枝、杉本保喜、瀬戸信夫、縄田祥子、林久芳、 原川盛夫、福江一彦、松尾朱美、山田義隆、弓取康英 (3) 会長、副会長の選出 自薦他薦がないことから次回持ち越しとなった。 (4) 会議の進め方 ① 日程 ② 会議の運営方式 ③ 市民への広報や参加の仕掛け 以上について事務局から説明。 (会員からの主な意見・質疑等) 市長の施政方針の中に、自治基本条例を制定するためには気運の醸成という表現がある。4月1日号の広報に書いてある。この日程をみると説明もあったが焦ってるなという感じは否めない。早い機会に気運の醸成を図るためのきっかけづくりをする必要があるのではないかな。急いで条例の素案を作成してもその時期に市民の中に気運の醸成がないと本末転倒にならないかな。 ⇒合併して間もないこの時期に、まちづくりの基本理念や基本原則を議論するに相応しい。条例作成の状況等を広報誌やホームページ、地元新聞等で発信していき、自治基本条例に対して市民の認知を得れるよう努力していきたい。気運の醸成が先ではないかとの意見も理解している。認知がない現状に停滞することなく一から出発し取り組みながら気運の醸成を図っていきたい。 開会回数はどれくらいを考えているか。 ⇒月に2回程度にしたいと考えている。 15名が参加したが、途中でも新規に参加できると(募集チラシに)書いてある。何人か誘ったが自治基本条例を難しく捉えていて参加が得られない。機会があるごとに参加を促すことをやっていくべきである。広報を読む人が少ないのではないかな。会議の内容を公共の場所、各種掲示板に張って読めるようにしてはどうか。

⇒貴重なご意見として検討させてもらいたい。

(5) 自治基本条例について

①導入が検討される経緯

②自治基本条例が想定する基本理念、運営原則等

③先進地の事例

以上について事務局から説明。

今、市のホームページで市の総合計画基本構想等をパブリックコメントしています。自治基本条例を創るにあたっては、基本構想、市の10年後の将来像等を一生懸命企画課でまとめているので、そのことについてもある程度、皆さんで理解していただく必要がある。山陽小野田市として総合計画を実際に実現していくのにどういう風な市政をすすめていくのかが基本になるかと思う。

⇒(先進地事例であがっている)大和市では、総合計画と自治基本条例が同時にセットで仕上がっている。山陽小野田市では、今年9月に仕上がってくる。その総合計画と自治基本条例との整合性はどうかという意見だと思います。

今、ホームページと言われたが見ることが出来ない人はどうすればいいか。

⇒総合支所、南支所、本庁企画課に原本(紙)で置いてあるので、閲覧できる。

総合計画と併せて、市民憲章を土台にして考えていく必要があるのではないかな。説明の中で情報の共有と言われたが、お金の使い方を共有することだ。市の財政の使い方を市民に分かるように公開しなくてはいけない。本当の情報が無いことには話し合いは出来ない。議員は分かるが予算書の配布等をして情報の共有していかなければいけない。その辺の資料を付けてほしい。

⇒皆さんと一緒に議論していきたい。

(6) その他

次回開催 平成19年5月14日(月)18:30~20:30